

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」  
教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○基礎基本の定着と、意欲的に学習に向かう態度の育成

【現状と課題】

○視点1  
学びの基礎チャレンジの算数科の結果から、計算したり公式を使ったりすることはできるが、その良さや理由を考えたり、それを説明したりすることは苦手である。本年度の学力・学習状況調査の結果からは、国語科では記述式問題や、自分の感想や考えをもったりする力に弱さが見られ、算数科では、「データ活用」「図形」の分野に際立って弱さが見られた。

○視点2  
学力学習状況調査から、国語科や算数科への学びに対する満足感や喜びが低い傾向にある。考える楽しさを子どもが実感できるような手立てを工夫するとともに、集団として学習意欲を高める手立てが必要である。

○視点3  
子どもは家庭学習に取り組んではいるが、内容がドリル的な学習に留まる傾向がある。継続して基礎基本の定着を図るとともに、興味関心を広げたり、発展的な学習に取り組んだりできるよう、家庭学習の充実を図る。

取組

視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○校内研究「心が動く算数科の授業」の実践 ○朝学習の時間に「書く力」「データ活用の力」を育てる活動に継続して取り組む。 ○ICTを活用した授業「草津型アクティブラーニング」の充実	<b>【取組事項】</b> ○読書カードや辞書・マイブックの常備による、意味調べや隙間読書の習慣づくり ○自主学習ノートの取組推進による自主学習への意欲づけ	<b>【取組事項】</b> ○家庭学習週間の設定や「家庭学習の手引き」の活用による家庭との連携、子どもの学習習慣の定着や学習環境の整備 ○「夢チャレンジ」(学年に応じた基礎基本の定着を図る検定)の実践 ○OJTを利用して、授業の参観や研修の機会をなるべく多く確保する

その他 取組事項

○算数科少人数習熟度別学習の実践と、その取り組み方や成果を教職員間で共有する手立ての工夫

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体		・「学びの基礎チャレンジ」の正答率が県平均程度(-2ポイント差以内)以上の児童の割合		
視点1	○「心が動く算数科の授業」の実践と記録 ○朝学習の時間に「書く力」を育てる活動(作文練習プリント等)、「データ活用の力」を育てる活動(算数科や社会科、理科のグラフの色々な見方等)にそれぞれ週1回継続して取り組む。	・児童アンケート「算数科の学習はよくわかります」と回答した児童の割合 ・「書く力」「データ活用の力」を育てる活動に計画通り取り組んだ担任の割合		
視点2	○「心が動く算数科の授業」の実践と記録 ○自主学習ノートの取組推進による自主学習への意欲づけ	・児童アンケート「算数科の学習は楽しいです」と回答した児童の割合 ・自主学習ノートに1冊以上取り組んだ児童の割合		
視点3	○家庭学習週間の設定(3回)と、自主学習や計画的な学習の強化ならびに「家庭学習の手引き」による家庭との連携、子どもの学習習慣の定着や学習環境の整備。 ○「夢チャレンジ」(学年に応じた基礎基本となる学習内容の定着のための検定)の実践	・家庭学習週間に、10分×学年+10分の家庭学習時間を達成した児童の割合 ・漢字検定合格率		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--